

技術士 第二次試験 模擬答案用紙

受験番号		技術部門
問題番号	防災指針	選択科目：
答案使用枚数	枚目 枚中	専門とする事項：

1	調査、検討すべき事項とその内容
	(1) 災害ハザード情報の収集・整理
	地域の災害履歴を確認する。情報の収集にあたっては、洪水、内水、津波、高潮などの水害や、土砂災害を網羅的に把握する。特に、水害については、頻発・激甚化の傾向があるため、適切な被害を想定したうえで検討する。
	(2) 災害リスクの高い地域等の抽出
	災害ハザード情報に基づき、災害リスクが高い地域を抽出する。抽出に当たっては、土砂災害特別区警戒区域や地すべり防止区域などのレッドゾーンと、浸水想定区域などのイエローゾーンに分類する。
	(3) 既存居住誘導区域等と災害リスクの関係
	すでに設定されている居住誘導区域と災害リスクの高いエリアを比較する。また、人口分布、都市施設の設置状況、公共交通網などの関係性も合わせて分析する。これらの分析により、都市災害の見える化を図る。
	(4) 防災対策の方針検討
	上記の調査を踏まえ、防災まちづくりの将来像を検討する。また、この将来像を構築するために必要となる目標や取り組み方針の設定を検討する。
2	業務を進める手順と留意点、工夫点
	(1) 関連計画の整理
	都市計画マスタープランや、地域防災計画など関連計画を整理する。また、既存の立地適正化計画との整

技術士 第二次試験 模擬答案用紙

受験番号		技術部門
問題番号	防災指針	選択科目：
答案使用枚数	枚目 枚中	専門とする事項：

合	性	に	も	留	意	し	、	必	要	に	応	じ	修	正	や	連	携	方	策	を	講	じ	る	。
<u>(2) 課題抽出と分析</u>																								
課題は地区ごと異なるため、その特徴を多角的に捉える。具体的には、洪水の場合には浸水深に加え、浸水継続時間や、家屋の倒壊範囲などの確認も行い、被害想定を分析することが重要である。																								
<u>(3) 防災まちづくりの方針検討</u>																								
災害リスクの回避と災害リスクを軽減の両側面から検討するよう留意する。さらに、国、都道府県、民間事業者など多様な主体の方針も取り込むよう工夫する。																								
<u>(4) 具体的な取り組みの検討</u>																								
防災対策は、地区ごとに災害リスクが異なるため、地区および災害リスクに応じた内容とする。また、各取り組み方針に基づき、イメージを可視化するなど住民に分かりやすく伝えるための工夫をする。																								
<u>(5) 目標値とスケジュールの検討</u>																								
災害リスクの程度によっては、市街地移転など大規模な対策となることもある。よって、目標値の設定にあたっては、いつまでにどの水準まで災害リスクを低下させるのか等、時間軸を意識した目標値を設定する。																								
<u>3 . 関係者との調整方策</u>																								
関係部署や行政に対しては、客観的な情報に基づいた調整を実施する。住民に対しては、防災意識を高めるうえでも、懇談会やワークショップを通じた積極的な関与を促し、計画推進の円滑化も図る。以上																								

●裏面は使用しないで下さい。 ●裏面に記載された解答は無効とします。

24 字×25 字